

ご あ い さ つ

近年、高齢化の進展により疾病構造が変化し、疾病全体に占める生活習慣病の割合が増加しており、虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病等の発症、あるいは重症化への進行の予防に重点を置いた対策が大きな課題となってきました。

こうした中、保険者には「健康寿命」の延伸を目的とした「保健事業実施計画(データヘルス計画)」の策定が求められております。

本市におきましては、国の指針に基づき、特定健康診査の結果や医療情報を活用した分析を行い、平成27年3月に第1期保健事業実施計画(データヘルス計画)を策定し、様々な保健事業に取り組み、生活習慣病の予防対策を進めてまいりました。

今回策定した第2期計画は、第1期計画期間の実績から、被保険者の健康課題の分析や保健事業の評価を行い、PDCAサイクルに沿って、これからも効果的かつ効率的な保健事業を実施していくための計画として策定したものです。

また、「第3期特定健康診査等実施計画」を本計画に盛り込み、平成30年度から35年度までの6ヵ年とする計画として策定いたしました。

今後は、医療・保健・介護の各関係機関との連携を図りながら、本計画に盛り込んだ保健事業の着実な推進に努めてまいります。市民の皆様には、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたりまして、福島市国民健康保険運営協議会委員の皆様をはじめ、ご協力をいただきました関係機関の皆様にご心から御礼を申し上げます。

平成30年3月

福島市長 木 幡 浩

